

古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～

# 「西の都」の魅力とみらい共創

古代日本の「西の都」は、令和7年2月に日本遺産の候補地域となりました。

協議会では、これからは、地域の人びとが、「西の都」の地域にひろがる文化遺産を身近に感じ、文化資源として地域づくりへ活かしていくことを目指します。

本イベントは、将来の「西の都」への想いを地域をはじめ皆さんに改めて示していくものです。

## プログラム

13:00～14:00	<b>基調講演</b> 元文化庁記念物課主任調査官 佐藤正知 「文化財保護と“ひと・まち・観光”－「西の都」のこれからを考える－
14:00～14:20	休憩
14:20～16:20	<b>パネルディスカッション</b> コーディネーター：日本経済大学地域連携センター長 竹川克幸教授 パネリスト：基調講演講師 佐藤正知 「西の都」構成7市町 「西の都」活性化協議会構成団体ほか <b>テーマ A「西の都」の魅力を語ろう!</b> 各市町の魅力を改めて発信!! <b>B「西の都」のみらいを語ろう!</b> これからの「西の都」について徹底討論!
10:00～16:40	<b>「西の都」いちば</b> 「西の都」や各市町の紹介パネル、物販、体験コンテンツなどを1階ホールで開催!!

## 「西の都」とは!?

日本の西、筑紫の地に栄えた「西の都」。

白村江の戦いののちに築かれた水城や大野城、基肄城跡など前代の要塞を活かし、その中に約2km四方にわたって碁盤目の街区を設け、大宰府政庁をはじめ、官庁街や官人養成学校、天皇ゆかりの寺院、迎賓館などを備えた、東アジア標準の本格的な都市でした。その遺産は、筑紫の地に広く残っています。この地を巡ると、当時の姿に思いを馳せることができます。

